

令和3年度「かごしま地域活性化協働推進事業」実施結果

空き家等活用に向けた仕組みづくり構築事業

～与論町ふるさと留学制度の取組と連携した地域づくりへのチャレンジ～

実施主体

(団体名)空き家のない与論島をつくるぞ！プロジェクト実行委員会
(担当課名)大島支庁 総務企画課



背景

- 奄美群島随一の住宅困窮の島、住まい不足で離島留学生の受け入れが進まない
- ・与論島では、核家族化の進行、度重なる台風被害による家屋の倒壊により、住民も家の確保に困窮。移住希望者の需要は増加しており、当面住宅難が続く。
- ・島唯一の高校与論高校存続のために島外の中高生を持つ家族を島に迎え入れる「ふるさと留学制度」を設けているが、家が見つからないために留学を諦める家族も多い。
- 空き家はあるが活用が進んでいない
- ・平成28年度調査で島内に100軒を超える空き家が確認されているが、活用が進んでいない。

地域課題

- 新たな空き家の貸し方の周知と、継続的な空き家流通のしくみづくり
- ・「荷物があっても、修繕しなくても貸せる」、「期間限定で貸せる」など大家の負担や不安を軽減することで空き家が流動する可能性は高い。
- ・そのためには、具体的な空き家の活用方法を空き家の所有者や地域住民に周知し、所有者や住民の意識を変えていく必要がある。
- ・周知活動、大家交渉などは民間だけでできることではないため、官民が連携し継続的な空き家活用のしくみづくりが求められる。

事業のねらい

①空き家をつくらない体制づくり(意識醸成・適正管理プランの骨子づくり)

・空き家活用, 新たな空き家をつくらない仕組みを構築し, 住まいを十分に確保することをねらいとし, 本事業では, 空き家調査, 大家意向調査, 大家や住民への意識醸成を行うとともに, 与論の空き家等の適正管理及び住宅供給プランの骨子, プラン実現のための体制を検討する。

②ふるさと留学体験によるファンづくり(関係人口の創出)

・島で育つことの良さを伝え, 留学希望者を増やすための体験プログラムを企画, 試行する。

事業概要

①空き家をつくらない体制づくり(意識醸成・適正管理プランの骨子づくり)

①-1) 空き家の基礎調査(7~8月)

①-2) 中間報告会の開催(10月22日, 24日)

①-3) 所有者意向調査(9月~12月)

①-4) 大家向け普及啓発チラシの作成(12月~3月)

①-5) 空き家活用プラン等の検討(12月~3月)

①-6) 最終報告会の開催(2月24日, 与論島内)



②ふるさと留学体験によるファンづくり(関係人口の創出)

②-1) ふるさと留学生向けオンライン島暮らし講座の企画(7~9月)

②-2) オンライン島暮らし講座の実施(予行10月11日, 本番11月28日)



成果

- 86軒の空き家を確認, 85軒の大家にアプローチし, 12軒の貸したい/売りたい空き家を確保。(右図)
- 今回の空き家調査結果を踏まえ, 与論島での空き家活用等について, より具体的な取組内容を協議し, 実践するため, 官民一体となった「住まいるプロジェクト実行委員会」が発足。
- 同実行委員会として空き家予備軍やいまは活用意向のない大家への普及啓発を図るため, 今後も活用できる大家向けのチラシ(右図)を作成。
- ふるさと留学生をはじめとした潜在的移住希望者向けに島のリアルを伝える, 無理なく継続できる「島暮らし体験オンライン講座」プログラムが完成した。

空き家調査結果



協働の状況

- NPO法人ねりやかなやレジデンス, 株式会社ねりやかなや, 与論町, (事業実施主体)
- 与論中・高等学校全学年2学級存続プロジェクト委員会(空き家調査支援, 空き家所有者ヒアリング支援, ふるさと留学生体験プログラム企画・運営等)
- 大島支庁総務企画課(広報, 空き家調査支援)

今後の取組

- 10年後に必要と推計される住宅戸数の確保に向け, 今回の事業を通して発足した官民一体の空き家活用組織「与論町住まいるプロジェクト実行委員会」が島内事業者等と連携し, 空き家活用, 低利用施設の活用, 土地の活用など住宅確保に向けた取り組みを進める。



協働事業の感想

団体からの声

今回の事業で, 官民が連携して深刻な住居不足の改善のための大きな一歩を踏み出すことができた。

町全体での意識も高まったと感じている。今後も住宅不足緩和に向け, 官民一体となった取り組みを進めたい。

担当課からの声

島内での人的つながりを駆使して, 空き家情報等を収集できることに驚いた。

ふるさと留学生のために家を見つけないという目的が, プロジェクト実施の原動力となり, また, 官民一体の「住まいるプロジェクト実行委員会」の設置にもつながった。今後の取組にも期待したい。